

民営化の方法別における公立保育園職員の見解

	社会福祉法人等へ移管		財団等を設立し移管		職員の処遇について		その他
1	職員の入れ替わりによる子どもたちの不安が懸念される。引継期間を設けたとしても、保育の方針や理念等が大きく異なる可能性もあり保護者や子どもに負担や動揺を与えるのでは。	1	民間ではなく、市の外郭団体に移管すると、合同研修がぎたり、今までの市の保育が継承しやすかったりするのは。また、利潤を求めずに、子どもの健やかな育ちに重点を置いた保育ができるのでは。	1	財団等の場合、公務員の身分（給与・福利厚生）はどうなるか。		移行にあたり何に主眼を置くか。①財政状況：少しでも採算の多くとれることを目指す。②保育内容を大切にする。②であれば財団がベターか。しかし、出向形態が異なる所属団体では働く人の困難や負担も大きいのでは。希望する必要があると思う。目的を大切にすることがはっきりすればもう少し整理できるのでは。
2	引継期間と引継ぎ後のフォローアップをどのように行うのか。	2	再出向の可能性がある中では、公務員としてのキャリアビジョンが描けない。	2	財団等の場合、職員の待遇の差がある中での運営が不安。		
3	数人の引継があっても子どもにとっては動揺が大きい。保育内容も変わり戸惑うこともあると思う。子どもにとってどうか？は大切にしていきたい。公立が大切にしてきた保育内容は途切れるように思う。	3	チームとしての力が発揮できないのでは。	2			
4	子どもにとって大切なことがどこまで職員同士共有できるか。会議を持つ時間も公立のように保障されるのか。	4	立場や処遇が違うことでお互いのやり難さを感じるのでは、自分達の保育や積み上げてきたものの共有がどのくらいできるのか。	3	臨時職員などの雇い止め。	1	
5	引き継ぐ期間が全くない場合や短かく充分でない場合子どもの不安があるのでは。	5	同じ園に待遇の違う職員が働いているのは、正規職員でも仕事量に差がでたり、どちらかの負担が大きくなってしまわないのか。	4	民営化された場合、公立の保育士はどこへ異動になるか。		
6	書面だけでは分からない子ども個々人の性格や対応の仕方等の引継ができないのでは。	6	公の関与を明確にしていく、市が求めてきた保育の質を担保していくとするならば、そもそも民営化が必要なのか。				
7	短期間での合同保育後、その保育を自分が継続していけないこと、子ども達と別れることの悲しさがある。	7	法人を新しくつくるなかでは、運営することがままならないような法人に、子どもの命を任せられるのか。				
8	社会福祉法人によって考えが全く変わってしまい、移管してからではないと分からない。公の責任はどうなるのか。	8	専門職は現場での細かな打合せと連携で事故なく子ども達の健康で安全な食事を出すことができるが、法人の場合どこまで市が立入指導できるか。				
9	引継保育期間を設けるとはいえ、保育士が全て変わるというところでは、子どもにとって良いとは言えないのでは。	9	職員派遣が数年続き徐々に引き継いでいくことになるが、法人の職員との待遇や働き方の違いもあり保育しづらい環境になるのでは。チームワークが基本の保育現場では、望ましい状況ではない。この方式をとるのであれば、かなり綿密にしっかりとした国立市の保育方針・理念・ガイドラインを立てないと今までと大きくずれた方向へ向かっていく恐れがある。			2	
10	運営主体が移管していく中で、どこまで市が責任をもっていけるのかが見えてこない。	10	規模が小さい市で、実現するのは難しいのでは。				
11	公募であるとういった社会福祉法人になるのか分からない。実績等市がとういった基準で選ぶのか。	11	財団を設立することが財政的に可能なのか。				

12	実績のある社会福祉法人とは、第三者評価での評価となるか。参考になることは多々あるが、保育園の人気のための評価がされていないか見極めることが必要。	12	財団は、保育予算を現状のままで維持できるのか。教材等の予算が減らないか。			3	民営化するにあたりしっかりとした市のビジョンをもつ必要がある。どの方法にせよ子ども達や保護者又は保育に関わる人に負担のないものであってほしい。働く保護者を支える政策は大切ですが、子ども目線に立った、将来のことを見据えた国立市独自の政策を作してほしい。公立は必要と感じます。
13	合同保育について、職員の差（考え・処遇等？）があるのでうまくいくのか。	13	引き継ぎはあるが、短期間で終わることや、違う職場につくのは不安。				
14	全く考えや保育のやり方が違うなかで一緒に保育をしていく不安と大変さがある。	14	戻ってこれるのか。出向園での人間関係。立場の違う職員同士の中で、保育の質を一緒に考えていけるのか。				
15	引き継ぎはあるが、短期間で終わることや、違う職場につくのは不安。	15	出向期間が長くなること、出向後の見通しが持てない。再出向が不安。				
16	引き継ぎのなかでの事務量の増加。移行後の責任の所在は。	16	保育に対する考えがどう変化するか。行動規範、基準などどう対応するか。				
17	立場の違う職員同士の中で、保育の質を一緒に考えていけるのか。	17	保育に対する細か考えが、園によって少しずつ違ってくるなか、うまくやっていたらいいか。				
18	円滑に合同保育ができるのか。	18	財団等では、公務員のまま出向で、また戻ってくる可能性。保育園はそのまま、公立がなくなる。				
19	建物が同じでも人間関係全てが変わるのはどうか。						

※上記の見解は、方法別で整理しているが、共有する内容がある。

※上記以外にも、民営化することに対する意見があった。